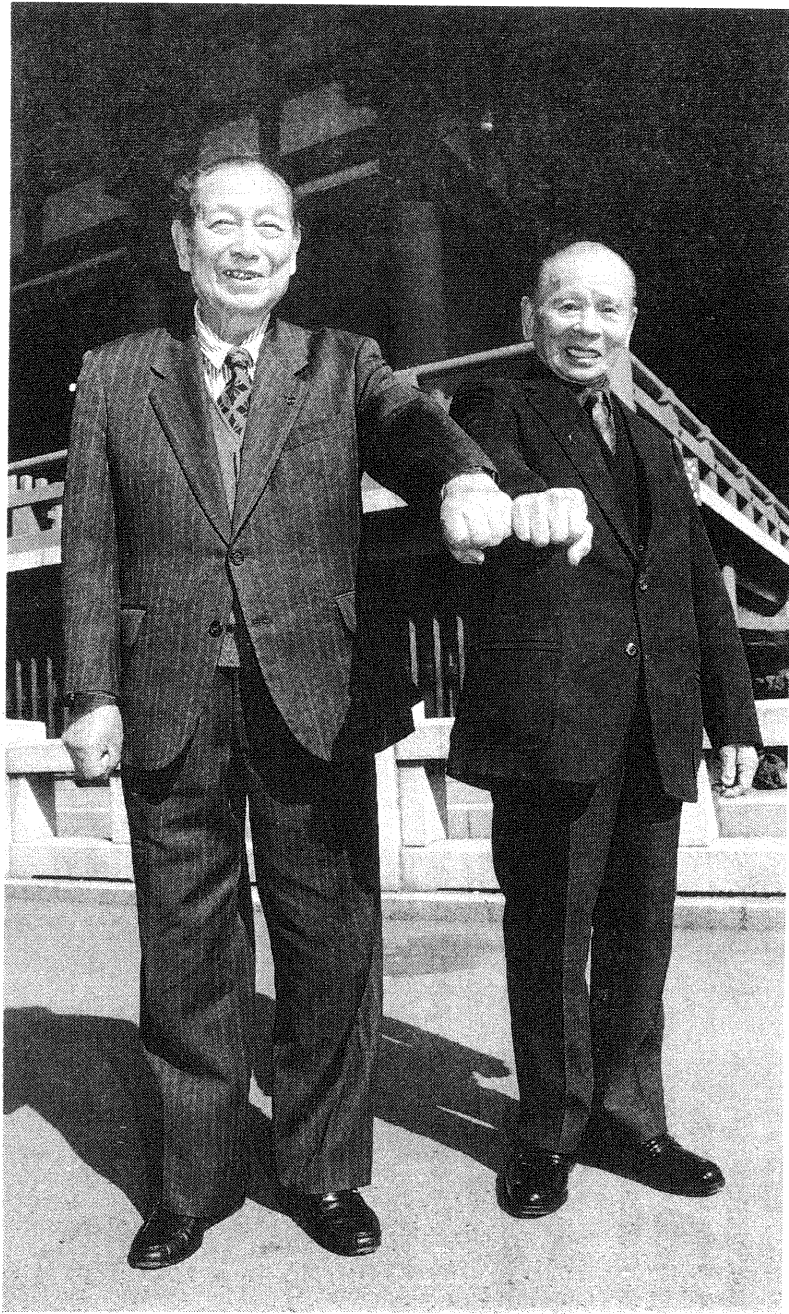


あつこいともなり
きんぐ山かとも

末広友成・木村若友がともに米寿に 4月29日(木、祝日)に『生涯現役宣言 若いも んなんかに負けるもん会く末広友成・木村若友の ダブル米寿を祝う会』を木馬亭で開催

写真・森 幸一ほか。



八十八と書いて米寿。長寿は最高の福といわれる。米寿にして現役、若手顔負けの元気な声を出すお二人に会への意気込みを聞いてみた。(お)

5年前の94(平成6)年春にお二人は『若いもんなんかに負けるもん会——83歳末広友成と木村若友 二人会』を木馬亭で開き、筒一杯の美声と大声(たいせい

い)を披露して健在ぶりを示した。

木村若友以下、若友) あれから5年ですか。月日の経つのは早いですね。

末広友成(以下、友成) あのととき、88歳になったらまた、会をやろうと約束したんだよな。

若友 私は去年、肺炎で入院したこともありましたが、今はすっかり健康を取り戻しました。兄貴はどうだい。

友成 おれはね、冬場はどうも足がいないんだ。戦時中の満州慰問のときの凍傷が原因なんだ。

お二人は昭和50年からの付き合ひ、4月17日うまれ若友が4月1日うまれの友成を兄貴と呼んで慕っている。

若友 浪界に入って私は60年、途中10年のブランクがありました。浪曲一筋でやってきました。

友成 こつちも65年、浪曲だけでは正直にやってきた。おれたちは若い頃は顔を合わせてないね。あんたは師匠の(木村)友衛師について劇場まわり、おれは寄席が中心だった。鉄道でいうとあんたが本線でおれは支線かな。あつはっは。おれの師匠が友若、あんたが若友。名前も縁があるね。

お二人には奥様が曲師という共通点もある。若友師の奥様・徳子さんは昭和20年から40年間、若友師の合ひ三味線を務めた(昭和62年没、71歳)。

友成 うまかったなあ、あんたのちゃんば。勘違いも弾けたしなあ。

若友 浪曲は三味線が命です。私は今、ねえさんの三味線で世話になってます

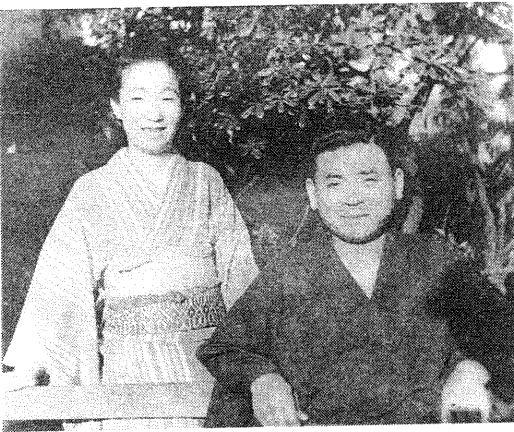
写真右は末広友成(すえひろ・ともなり)。新潟県出身。昭和8年、末広友若に入門。昭和15年、日比谷公会堂で看板披露、三千人の客を呼んだ。写真左は木村若友(きむらわかとも)。福島県出身。昭和12年28歳で、木村友衛に入門。初舞台で『柳生二蓋笠』を読んだ。写真は東京・浅草の浅草寺で、大入りに向けて健闘を誓う二所。「笑ってくれって? あんまり笑うと入れ歯が外れるんだよ。ははは」(友成)

けど、ねえさんは達者ですよ、高調子が。友成 もっと、うまくなってもらわな
いと。うちの昭和15年から稽古させ
てんだけど、三味線を弾くんじゃなくて
引きずってるんだな。

若友 また、そんなことを言つて。
ねえさん、うまいよ。

若友師がねえさんと呼ぶ、友成師の奥
様は永子(えいこ)さん。84歳、結婚生活
60年、友成師とは芸のキズナでも結ばれ
ている。

友成 友成師は洒脱で冗談を連発し、若友師
はかたぶつで軽口をいわない堅実、誠実
が表看板だ。硬軟が噛みあった兄弟関係
だ。そして、ともに勉強家で、研究熱心だ。
友成 そりゃ、研究しなきゃ。お金を



昭和15年、浅草で。新婚の友成夫妻。左は新妻の永子さん。4月29日は、もちろん友成師の三味線を務める。「女房に感謝してるかって?」あたりがたいつてことになっておきましょう。その方が世の中うまくおさまるから。ははは(友成)

取るんだから一人前ではダメなんだ。

若友 私は浪曲が好きで舞台上が
るのが楽しみで、ただ懸命にやってきた
だけでしてね。それにしても兄貴の口調
はチャキチャキだね。わたしは、とうと
う福島訛なままりが取れなかった。

友成 おれも新潟訛りを直すのに3
年かかったよ。今はね、おれの浪曲をお
れより年上の人に聞かせたいんだ。

若友 それは、なぜ。

友成 おれたちは親孝行や国の為と
いうことを教えられたけど今は個人主
義、親不孝がいいという時代だ。舞台上
上がると調子が狂っちゃうんだ。だけど
ね、今はおれより年上の客がいねえん
だ。ははは。ところで4月29日の会で
は何を演るの。



若友師の舞台。「お客さまの声援のおかげで、今日までやってこられました。声ひとすじ60年。これから先もまだまだ、やります」

若友 初舞台で掛けた「柳生親子試合
(柳生一蓋笠)」を初心に帰って演りま
す。最近83歳の会るときよりも、ます
ます声が出るんですよ。

友成 それは楽しみだ。あんたのつづ
ばる声がおれは大好きなんだ。おれは「黒
田武士」だ。唄と詩吟が入っていて、うち
のが変わっていいだろうって。

若友 88歳、現役の二人の会はギネス
ブックものです。みなさんのおいでを願
いたいですね。

友成 おれはあんまり先がないから、
入場料とは別に香典を持ってきてもら
いたいね。

若友 それじゃ兄貴、あんまりだぜ。
わっははは。(15頁参照)



前回、94年の会。写真右が友成師、中央が若友師、左は会の企画者で浪曲評論家の故・芝清之。大入り満員の盛況だった。



株式会社 サンフレンド

◆サンフレンド・グループ◆

(株) サンフレンド・分譲住宅・不動産売買

千葉県知事(1)第533号

千葉県野田市野田787-10 窪田ビル2F

TEL 0471-25-3733 (代)

48
/ 52